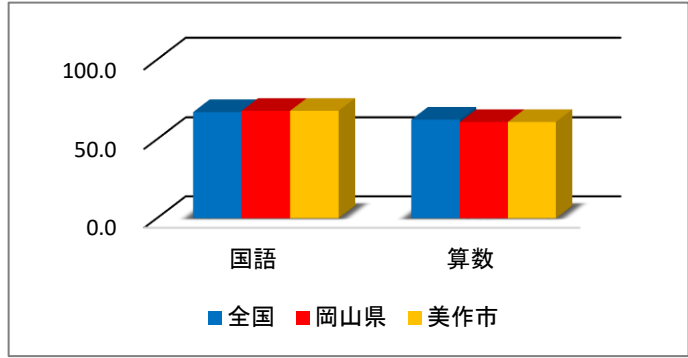


○平均正答率(小6) 割合(%)

	国語	算数
全国	67.2	62.5
岡山県	68	61
美作市	68	61

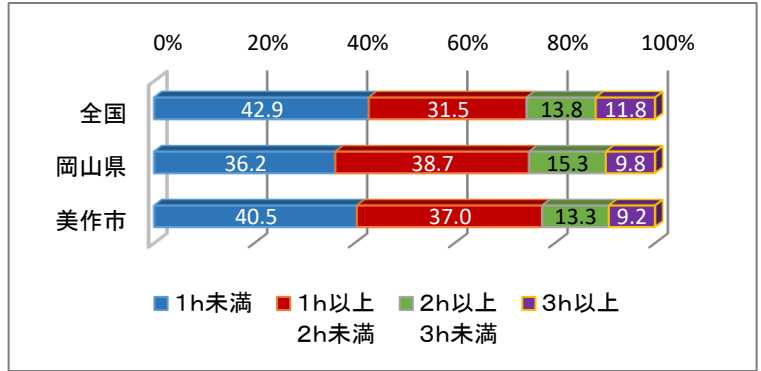
- ・国語・算数共に県平均と同等である。
- ・国語の漢字を文章の中で正しく使うこと、文章を読んで自分の考えをまとめる設問について全国平均を上回り、書く指導を重視した成果が表れている。
- ・グラフを読み、見いだした違いを記述する設問でも全国平均を上回った。
- ・算数では、図形の領域や割合の設問で、全国平均を下回った。



○平日の家庭学習時間(小6) 割合(%)

	1h未満	1h以上 2h未満	2h以上 3h未満	3h以上
全国	42.9	31.5	13.8	11.8
岡山県	36.2	38.7	15.3	9.8
美作市	40.5	37.0	13.3	9.2

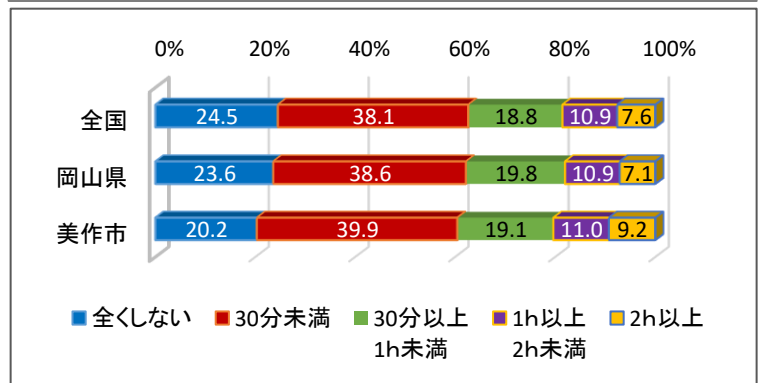
- ・家庭学習時間は昨年度(5年生時実施の県調査結果)と比較すると、1時間未満の割合が1.5ポイント減少した。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしている」の質問紙で肯定的回答をしている児童の割合が県、全国平均を上回っている。
- ・1人1台端末を持ち帰り、自立的な学びの促進を図る。



○平日の読書の時間(小6) 割合(%)

	全くしない	30分未満	30分以上 1h未満	1h以上 2h未満	2h以上
全国	24.5	38.1	18.8	10.9	7.6
岡山県	23.6	38.6	19.8	10.9	7.1
美作市	20.2	39.9	19.1	11.0	9.2

- ・読書の時間については、「全くしない」という児童の割合は全国、県と比較すると少ない。
- ・読書を通じて、知識や情報を得ると共に豊かな人間性の育成をめざすため、今後もさまざまなジャンルの本に親しむ時間を十分確保する。



【全国学力・学習状況調査において明らかになった成果と課題】

- ・文章の種類とその特徴について理解しているかをみる設問で全国平均を上回った。今後も目的や意図に応じて書くことや学習を振り返る場面で、相手に何を伝えようとしたのかを確認する活動を大切にしたい。
- ・高さが等しい三角形について底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる設問で、正答率が全国平均を下回った。実物やデジタル教科書等を用いて図形を観察したり操作したりする活動を設定すること、図形を構成する要素間の関係に着目し、面積の大きさを判断できるようにすることが大切である。
- ・「国語の勉強は好きですか」「算数の勉強は好きですか」という質問では「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」という割合は全国平均を上回っている。
- ・「将来の夢や目標をもっていますか」「自分にはよいところがありますか」という質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」という割合が全国平均を上回っている。

【課題に応じた改善のポイント】

- 授業改善の推進 ～主体的・対話的に学ぶ活動を工夫し、学びの深まりを実感させる授業づくり～
 - ・「岡山型学習指導のスタンダード」に基づいた授業5の視点に加え、「岡山型学習指導のスタンダード増補版 授業改善『一歩先へ』」に示されている児童生徒が主役となる授業づくりと全体を見通した単元計画を行うことを重点として、授業改善を進める。
 - 自己の学びの成果が実感できる「振り返り」の充実を図る。
 - 言語活動を重視した授業づくりを行い、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
 - 1人1台端末などICT機器をより一層活用した効果的な授業実践を行う。
 - 家庭学習につなげる授業づくり(復習、予習、自主学習の充実、1人1台端末の活用)と家庭学習の出し方(質と量)の工夫を行う。
- 落ち着いた学習環境下での学ぶ意欲の向上
 - ・人間関係づくりを大切にしたい学級集団づくり
- 補充学習の充実(朝の学習、放課後学習、問題データベース、タブレットドリルの活用)
- 生活習慣、学習習慣の確立
 - ・家庭学習のスタンダード、家庭学習の手引きに基づいた取組の充実(例:自主学習ノートの活用、手本となるノートの紹介等、成長を実感させる評価の工夫)
 - ・1人1台端末の効果的な活用による家庭学習の充実(予習の課題、授業との連動を行う)